

小型電気温水器 (先止め式)

EHPN-CA12ECV4/EHPN-CB12ECV4
 EHPN-CA12ECS4/EHPN-CB12ECS4
 EHPN-CA12V4/EHPN-CB12V4
 EHPN-CA12S4/EHPN-CB12S4
 EHPN-CA20ECV3/EHPN-CB20ECV3
 EHPN-CA20ECS3/EHPN-CB20ECS3
 EHPN-CA25ECV3/EHPN-CB25ECV3
 EHPN-CA25V3/EHPN-CB25V3

商品の機能が十分発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
 この説明書は、施工完了後、お客さまにお渡しください。
 また定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。



このQRコードはメーカー管理用です。

施工時には必ずお守りください

以下は安全のための注意です。施工前に必ず読み、施工時に必ずお守りください。
 この説明書では、誤った施工による事故を未然に防ぐため、工事者または使用者の安全に関する注意事項にマークをつけて表示しています。
 マークの意味は次の通りです。施工前によく読み正しく施工してください。

●用語および記号の説明

警告	作業を誤った場合に、設置作業が、又は設置工事の不具合によって人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
注意	施工を誤った場合に、人が傷害を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。
▲	「注意しなさい！」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
○	「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)
!	「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)
⚡	「必ずアース接続をください！」

警告

- アース工事は電気設備技術基準等、関連する法令・規則等に従って、必ず「法的有資格者(電気工事士)」によるD種接地工事(100Ω以下)を行ってください。また漏電遮断器を設置してください。
※故障や漏電時に感電の恐れがあります。
- 使用する電源、消費電力を本体の定格銘板で確認し、必ず適した配線をしてください。
※火災の原因となります。
- 屋外には設置しないでください。
- 屋内でも水がかかったり、表面に結露が生じたりするような湿気の多くなる所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。
※故障や感電の原因となります。
- 修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理は行わないでください。
※火災や感電の原因となります。
- 内部配線や電源コードの切断・圧着は絶対に行わないでください。
※感電や火災の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。
- 水道水(水道事業者が供給する上水)以外の水を使用しないでください。
※早期に機器が破損し、感電・漏水の原因となります。

注意

- 必ず機器内のタンクを満水にしてから、運転スイッチを「入」にしてください。
※機器の破損やヤケドの恐れがあります。
- 機器を横にしたり、上下を逆にした状態で設置しないでください。
- 車両や船舶内に設置しないでください。
※機器の故障、ヤケド、漏電、漏水の恐れがあります。
- この機器は太陽熱温水器や、他の給湯機器との接続はしないでください。
※機器が破損し、漏水の恐れがあります。
- 機器を水栓より上に設置しないでください。
※機器が破損し、漏水の恐れがあります。
- この機器は、給水圧力0.1(流動時)~0.75MPa(静止時)の範囲でご使用ください。
※水圧が高い地域に設置した場合、止水時に缶体内部の水圧が高くなり、膨張水口から水がふき出し続ける恐れがあります。
- 膨張水口からの膨張水排水ホース(黒)は、確実に配管施工してください。
※漏水の恐れがあります。
- 水栓への接続は2ヵ所までにしてください。3ヵ所以上に接続しないでください。
※水栓から湯が出なかったり、著しく出が悪くなったりする恐れがあります。
- 凍結の恐れがある場合は、機器の水抜きを行ってください。
※機器の漏水や破損の原因となります。
- 新築・改修工事後や、水道断水の復旧後、必ず配管内の空気を抜いてください。
※配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、けがをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 機器に強い力や衝撃を与えないでください。
※故障や漏水の原因となります。
- 排水器具の下流側の排水管にトラップ構造を設けないでください。
※ダブルトラップで排水不良となり、排水器具から漏水する恐れがあります。

1.仕様

品番	EHPN-CA12ECV4	EHPN-CB12ECV4	EHPN-CA12ECS4	EHPN-CB12ECS4
本体寸法(突出部寸法含む)	幅296mm×奥行342mm×高さ437mm			
本体質量(満水時)	約8kg(約20kg)			
給水方式	先止め式(減圧弁・逃し弁内蔵)			
使用水圧	0.1(流動時)~0.75MPa(静止時)			
減圧弁設定圧力	0.08MPa			
逃し弁設定圧力	吹き始め 0.095MPa 吹き止り 0.087MPa以上			
電源コード	有効長さ 1.5m 接地極付タイプ	有効長さ 1.5m 引掛型3P(接地極付)	有効長さ 1.5m 接地極付タイプ	有効長さ 1.5m 引掛型3P(接地極付)
定格電圧	AC100V(50/60Hz)	単相 200V(50/60Hz)	AC100V(50/60Hz)	単相 200V(50/60Hz)
ヒーター能力	1100W	1500W	1100W	1500W
タンク容量	約12L			
出湯温度	約50℃または約75℃(出荷時は約50℃)		約26℃~約36℃(温度範囲約21℃~43℃)	
わかき上げ時間	約27分(15→50℃) 約46分(15→75℃)	約20分(15→50℃) 約33分(15→75℃)	約46分(15→75℃)	約33分(15→75℃)
使用可能雰囲気温度	0~40℃(ただし凍結しないこと)			

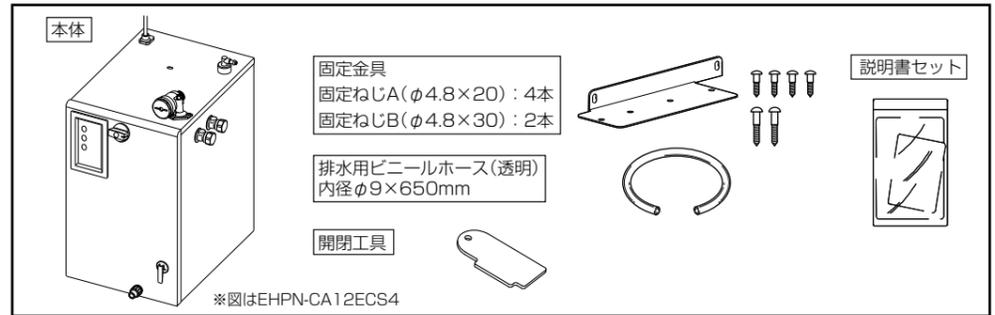
品番	EHPN-CA12V4	EHPN-CB12V4	EHPN-CA12S4	EHPN-CB12S4
本体寸法(突出部寸法含む)	幅296mm×奥行342mm×高さ437mm			
本体質量(満水時)	約7kg(約19kg)			
給水方式	先止め式(減圧弁・逃し弁内蔵)			
使用水圧	0.1(流動時)~0.75MPa(静止時)			
減圧弁設定圧力	0.08MPa			
逃し弁設定圧力	吹き始め 0.095MPa 吹き止り 0.087MPa以上			
電源コード	有効長さ 1.5m 接地極付タイプ	有効長さ 1.5m 引掛型3P(接地極付)	有効長さ 1.5m 接地極付タイプ	有効長さ 1.5m 引掛型3P(接地極付)
定格電圧	AC100V(50/60Hz)	単相 200V(50/60Hz)	AC100V(50/60Hz)	単相 200V(50/60Hz)
ヒーター能力	1100W	1500W	1100W	1500W
タンク容量	約12L			
出湯温度	約60℃または約75℃(出荷時は約60℃)		約26℃~約36℃(温度範囲約21℃~43℃)	
わかき上げ時間	約34分(15→60℃) 約46分(15→75℃)	約25分(15→60℃) 約33分(15→75℃)	約46分(15→75℃)	約33分(15→75℃)
使用可能雰囲気温度	0~40℃(ただし凍結しないこと)			

品番	EHPN-CA20ECV3	EHPN-CB20ECV3	EHPN-CA20ECS3	EHPN-CB20ECS3
本体寸法(突出部寸法含む)	幅441mm×奥行373mm×高さ427mm		幅441mm×奥行373mm×高さ427mm	
本体質量(満水時)	約11kg(約31kg)			
給水方式	先止め式(減圧弁・逃し弁内蔵)			
使用水圧	0.1(流動時)~0.75MPa(静止時)			
減圧弁設定圧力	0.08MPa			
逃し弁設定圧力	吹き始め 0.095MPa 吹き止り 0.087MPa以上			
電源コード	有効長さ 1.5m 接地極付タイプ	有効長さ 1.5m 引掛型3P(接地極付)	有効長さ 1.5m 接地極付タイプ	有効長さ 1.5m 引掛型3P(接地極付)
定格電圧	AC100V(50/60Hz)	単相 200V(50/60Hz)	AC100V(50/60Hz)	単相 200V(50/60Hz)
ヒーター能力	1100W	2000W	1100W	2000W
タンク容量	約20L			
出湯温度	約50℃または約75℃(出荷時は約50℃)		約26℃~約36℃(温度範囲約21℃~43℃)	
わかき上げ時間	約48分(15→50℃) 約80分(15→75℃)	約24分(15→50℃) 約44分(15→75℃)	約80分(15→75℃)	約44分(15→75℃)
使用可能雰囲気温度	0~40℃(ただし凍結しないこと)			

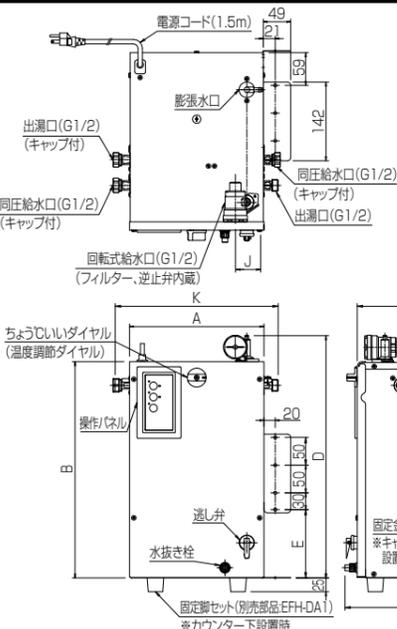
本品番	EHPN-CA25ECV3	EHPN-CB25ECV3	EHPN-CA25V3	EHPN-CB25V3
本体寸法(突出部寸法含む)	幅471mm×奥行358mm×高さ427mm			
質量(満水時)	約11kg(約36kg)			
給水方式	先止め式(減圧弁・逃し弁内蔵)			
使用水圧範囲	0.1(流動時)~0.75MPa(静止時)			
減圧弁設定圧力	0.08MPa			
逃し弁設定圧力	吹き始め 0.095MPa 吹き止り 0.087MPa以上			
電源コード	有効長さ 1.5m 設置極付タイプ	有効長さ 1.5m 引掛型3P(接地極付)	有効長さ 1.5m 設置極付タイプ	有効長さ 1.5m 引掛型3P(接地極付)
定格電圧	AC100V(50/60Hz)	単相 200V(50/60Hz)	AC100V(50/60Hz)	単相 200V(50/60Hz)
ヒーター能力	1100W	2000W	1100W	2000W
タンク容量	約25L			
出湯温度	約50℃または約75℃(出荷時は約50℃)		約60℃または約75℃(出荷時は約60℃)	
わかき上げ時間	約56分(15→50℃) 約100分(15→75℃)	約30分(15→50℃) 約54分(15→75℃)	約70分(15→60℃) 約100分(15→75℃)	約38分(15→60℃) 約54分(15→75℃)
使用可能雰囲気温度	0~40℃(ただし凍結しないこと)			

2. 同梱品一覧

施工前に同梱部品を確認してください。



3. 寸法図



	12Lタイプ	20Lタイプ	25Lタイプ
A	242mm	387mm	417mm
B	390mm	405mm	378mm
C	320mm	354mm	354mm
D	437mm	426mm	427mm
E	123mm	99mm	99mm
F	347mm	282mm	302mm
G	415mm	405mm	405mm
H	193mm	152mm	222mm
J	52mm	257mm	336mm
K	296mm	417mm	475mm
L	342mm	354mm	358mm

※図はEHPN-CA12ECS4

4. 別売品一覧 ☆は必要別売部品

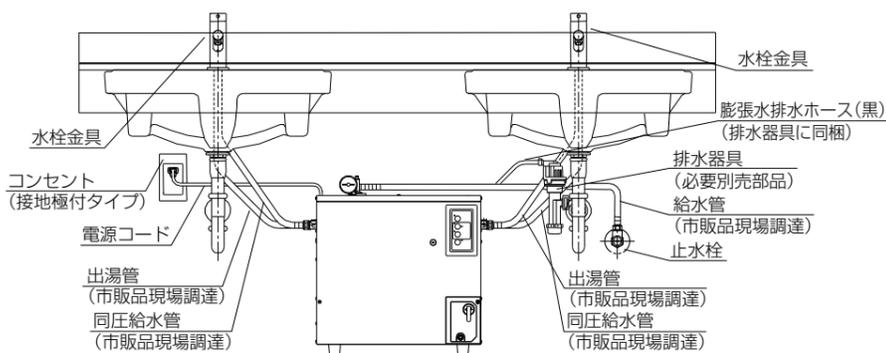
品名	品番	備考	外観概略
☆排水器具	EFH-6	カウンター用 φ32排水管用 φ25排水管用	膨張水排水ホース(黒) (内径φ7×1000mm) 入り
固定脚	EFH-DA1	カウンター下など床面に直接設置する場合に使用	4個入り
固定金具	EFH-KK1	カウンター下に壁から離して設置する場合に使用	固定ねじ(φ4.8×20):4本
自動水栓 接続継手	EFH-22B(※1) EFH-CG1(※2)	自動水栓(サーモスタット付タイプ)を本体直付けする場合に使用 (※1)オートマージュA、 クースネック (※2)上記以外	図はEFH-22B。
	FH-K3	自動水栓(サーモスタット付タイプ)を壁付けする場合に使用	固定ねじ (皿 A4×20):6本
	EFH-CF1(※3)	自動水栓(単水栓タイプ)を本体直付けする場合に使用	
	EFH-CB3	自動水栓(単水栓タイプ)を壁付けする場合に使用	固定ねじ (皿 A4×20):3本
L型接続継手	EFH-HK2	出湯・同圧給水方向を90度曲げる場合に使用	
排水曲り管 (φ32mm)	EFH-HM1	【設置条件】 洗面器排水芯から壁面までの距離が短い場合に使用(Pトラップ用)	
排水曲り管 (φ25mm)	EFH-HM1-25		
ウィークリータイマー	EFH-TM4	電気温水器へ通電する時間を設定する場合に使用	※EHPN-CA12V4、EHPN-CA12S4、 EHPN-CA25V3、EHPN-CA25V3 のみ組合せ可能です。

その他現場での調達品

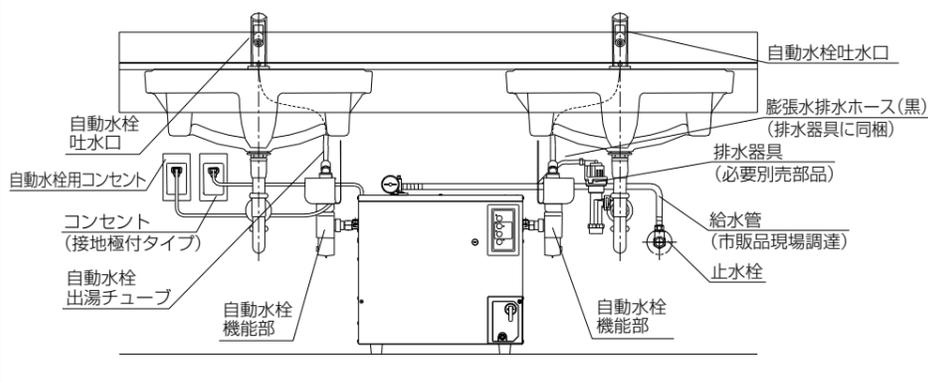
ステンレスフレキシブル管 (1/2B、呼び径 13mm)、1/2B 耐熱シートパッキン、ニップル、シールテープ

5. 標準施工図例

混合水栓との組合せ



自動水栓(サーモスタット付)との組合せ



6. わきあげ温度の切替え (EHPN-CA(B)12V4/EHPN-CA(B)25V3)

より多くの湯を使用したい場合に対応できるように、わきあげ温度を75℃に切り替えることができます。75℃でわきあげる場合は高温の湯に注意ください。

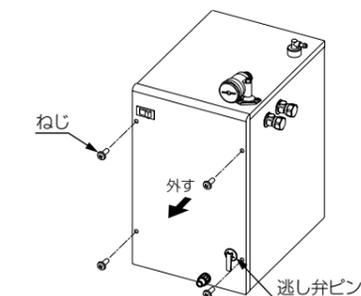
※工場出荷時は、わきあげ温度が60℃に設定されています。

注意 わきあげ温度の切替作業は、工事店等専門の方が行ってください。
※感電の恐れがあります。

①電源プラグがコンセントに接続されていないこと、および運転スイッチが「切」になっていることを確認する。

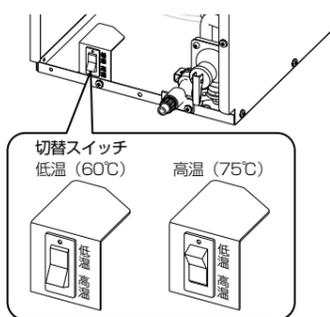
注意 前扉を開ける前に、必ず運転スイッチを「切」にして、コンセントから電源プラグを抜いてください。
※感電の恐れがあります。

②逃し弁ピンを立てて前扉の取付ねじを取り外し、前扉を開ける。



④取外しと逆の手順で前扉を取り付ける。

③機器内部の切替スイッチを操作する。



7. 取付け手順

※電気温水器を取り付ける前に、洗面器、カウンターや水栓金具をそれぞれの施工説明書に従って取り付けてください。

<取付けの流れ>

- ①機器への固定金具および固定脚の取付け
- ②給水管、出湯管・膨張水排水ホース(黒)の長さ確認
- ③機器への配管
- ④膨張水排水ホース(黒)の接続
- ⑤床面もしくは壁面への固定

離隔距離について

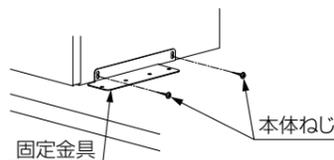
この温水器は、「消防法告示第一号(対象火気設備等及び火気器具等の離隔距離に関する基準)」に適合しています。建築物の可燃物等からの離隔距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。さらに修理点検の際に必要なメンテナンススペースも確保してください。

消防法基準適合組込型					
可燃物からの離隔距離 (cm)					
上方	左方	右方	後方	下方	前方
0	0	0	0	0	0

7-1. 固定金具および固定脚 (カウンター下設置の場合のみ) の取付け

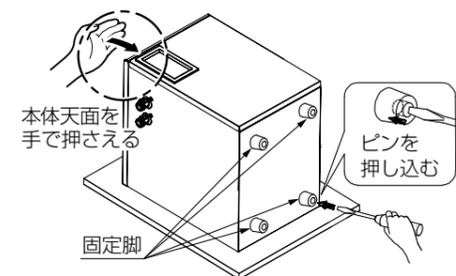
【(A)キャビネット内設置の場合】

固定金具(付属品)を取り付ける。機器下部のねじで共締めする。
※固定金具は左側面にも取り付けられます。



【(B)カウンター下設置の場合】

①固定脚(EFH-DA1、別売品)を取り付ける。
※ダンボール等を下にしき、機器を寝かせた状態で作業してください。



②固定金具を取り付ける。

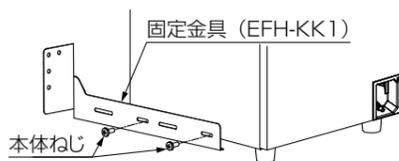
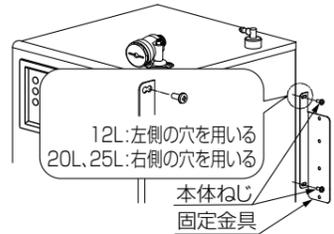
【壁面に直接固定する場合】

機器側面のねじで共締めする。

※固定金具は左側面にも取り付けられます。

【配管等があり壁面に直接固定できない場合】

別売品の固定金具(EFH-KK1)を準備して機器下部のねじで共締めする。



注意 ねじの取付け、取外しは手回しドライバーで行ってください。
※インパクトドライバー等を用いると、ねじ部の破損の恐れがあります。

7-2. 機器への配管

この機器は、0.75MPaを超える高水圧地域では使用しないでください。
※機器が破損し、漏水の恐れがあります。

●ステンレスフレキシブル管の接続は必ずスパナ2丁を使用するなどして、取り付ける相手の機器に無理な力がかからないよう注意して接続してください。
また接続部には、必ず耐熱シートパッキン(以下パッキンと呼ぶ)を使用して接続してください。
※漏水の恐れがあります。

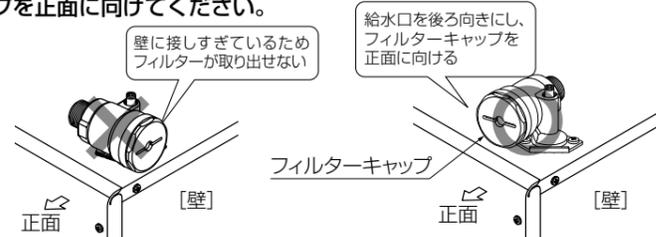
●給水、出湯、同圧給水の配管はそれぞれ1m以内にしてください。
※水栓から出る湯(水)の勢いが著しく弱くなる場合があります。

●機器を接続する前に、30L程度水を流し、配管内のゴミ等を取り除いてください。
※機器にゴミが侵入し、故障の恐れがあります。

注意 ●機器への配管は、市販のステンレスフレキシブル管(1/2B、呼び径13mm)を使用してください。
●機器を接続する前に、配管の漏水・耐圧検査を実施してください。

【12Lタイプを右壁に接するように設置する場合】

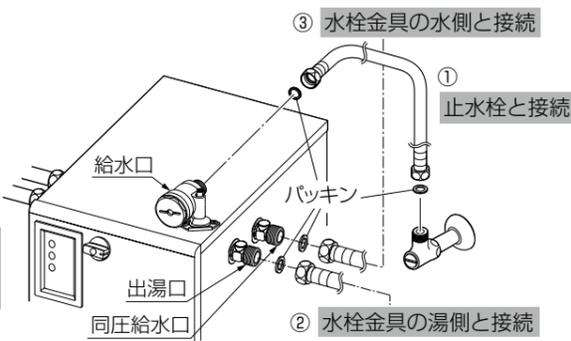
本体上部の給水口を左向き、フィルターキャップを右壁に向けて設置するとフィルター掃除ができなくなりますので、給水口を後ろ向き、フィルターキャップを正面に向けてください。



【(A)単水栓・混合水栓への取付け】

- ①止水栓と、機器の給水口を接続する。
- ②水栓金具の湯側と、機器の出湯口を接続する。
- ③(混合水栓の場合)水栓金具の水側と、機器の同圧給水口を接続する。

2カ所給湯時は左側の同圧給水口・出湯口のキャップを取り外して右側と同様の手順で接続する。
※キャップは取外し後、使用しません。



注意 機器の同圧給水口と出湯口を逆に接続しないでください。
※高温のお湯が出て、ヤケドの原因になります。

【(B)自動水栓への取付け】

注意 自動水栓の定流量弁は必ず取り外してください。
※流量が不足する恐れがあります。定流量弁の位置については、自動水栓の施工説明書を参照ください。



注意 機器の同圧給水口と出湯口を逆に接続しないでください。
※高温のお湯が出て、ヤケドの原因になります。

■サーモスタット付自動水栓に取り付ける場合

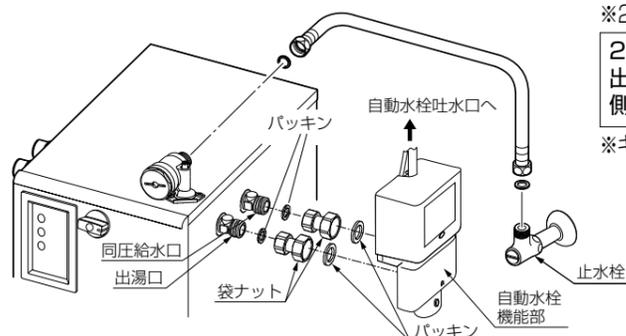
(EHPN-CA(B)12ECV4, EHPN-CA(B)12V4, EHPN-CA(B)20ECV3, EHPN-CA(B)25ECV3, EHPN-CA(B)25V3)

(1) 機器に直付けする場合 ⇒自動水栓接続継手が必要です(※1、2)

下記の要領で配管を接続する。

- ※1 EFH-22B:オートマージュA,グースネック
- ※2 EFH-CG1:上記以外

2カ所給湯時は左側の同圧給水口・出湯口のキャップを取り外し、右側と同じ手順で接続する。
※キャップは取外し後、使用しません。



(2) 機器に直付けしない場合 ⇒FH-K3が必要です

自動水栓接続継手 (FH-K3) の施工説明書に従い配管接続をする。

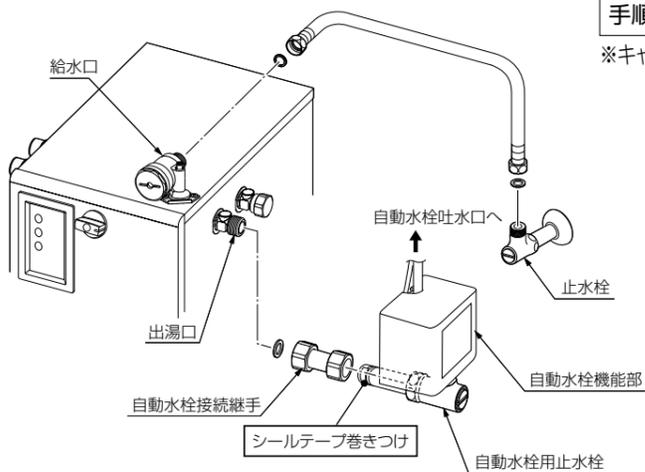
■単水栓タイプの自動水栓に取り付ける場合

(EHPN-CA(B)12ECS4, EHPN-CA(B)12S4, EHPN-CA(B)20ECS3)

(1) 機器に直付けする場合 ⇒自動水栓接続継手が必要です(※3、4)

下記の要領で配管を接続する。

2カ所給湯時は左側の出湯口のキャップを取り外し、右側と同じ手順で接続する。
※キャップは取外し後、使用しません。

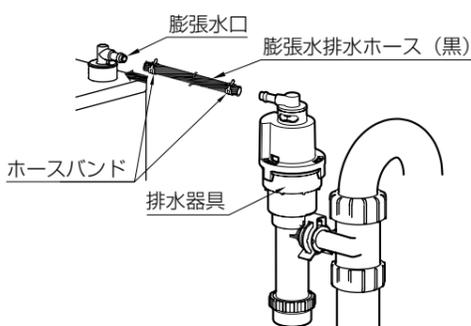


(2) 機器に直付けしない場合 ⇒EFH-CB3が必要です

自動水栓接続継手 (EFH-CB3) の施工説明書に従い接続する。

7-3. 膨張水排水ホース (黒) の接続

膨張水排水ホース (黒) を、機器の膨張水口に接続する。



注意 膨張水排水ホース(黒)は確実に配管施工してください。
※漏水の恐れがあります。

- 別売の排水器具を準備してください。
- 排水器具の取付けは、排水器具付属の施工説明書をご覧ください。
- 必ずホースバンドを取り付けてください。

- 膨張水排水ホース(黒)の長さは1m以内としてください。
- 排水器具のホース接続口が膨張水口より高い位置にあっても、膨張水の排水に影響ありません。

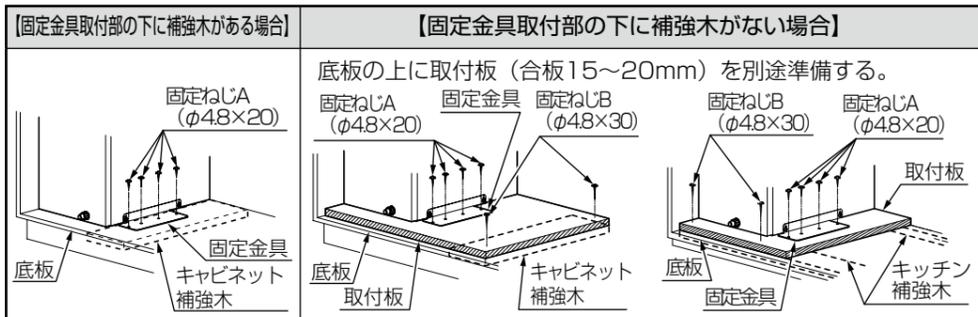
7-4. 機器の固定

注意 ●機器の前扉を壁面に向けて設置しないでください。
※メンテナンスができなくなります。
●機器の固定は「国土交通省告示第1447号(平成24年12月12日)」に従って、法令上適切な転倒防止の措置を行ってください。

【(A)キャビネット内設置の場合(床固定)】

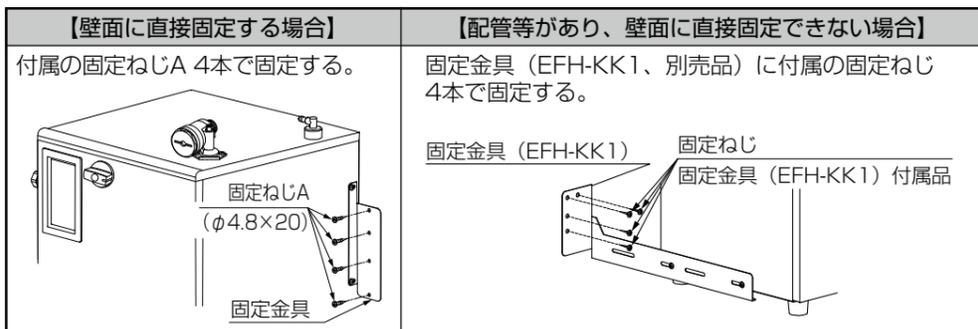
キャビネット底板の補強木の位置を確認し、付属の固定ねじA(4本)で固定する。

注意 ●補強木、取付板は引張耐力1.2kN以上耐えるものであることを確認してください。
●底板下に使用者が触れる可能性がある空間がある場合には、ねじの先端が飛び出さないよう、用意する合板の厚さやねじ止めする位置に注意して施工してください。



【(B)カウンター下設置の場合(壁固定)】

注意 ●固定金具を取り付ける壁は、引張耐力1.2kN以上耐える壁や木下地であることを確認してください。
●下地に固定する場合は固定ねじAφ4.8×20:4本(付属品)で固定してください。
RC壁などに取付ける場合は合計引張耐力が1.2kN以上のプラグなどを使用して固定してください。(推奨:φ4.8×32 JIS木ねじ、フィッシャー社製 SXプラグ品番: SX 6×30)



8. 電気工事

●漏電遮断器を必ず設置してください。
●必ずアースを接続してください。
●アース工事は電気設備技術基準等、関連する法令・規則等に従って、必ず「法的有資格者(電気工事士)」によるD種接地工事(100Ω以下)を行ってください。
※故障や漏電時に感電の恐れがあります。

注意 ●内部配線や電源コードの切断・圧着は絶対に行わないでください。
●内部配線や電源コードを補修する必要がある場合は、現場で加工せず専用補修部品と交換してください。
●使用する電源・ヒーター能力(定格消費電力)を本体の定格銘板で確認し、必ず適した配線をしてください。また電源プラグの変更は絶対に行わないでください。
●コンセントの電圧を必ず確認してください。100V用コンセントに200Vが供給されている場合は、電気工事をやり直してください。
※感電や火災の原因になります。

- ①本機器専用に「接地極付コンセント」を用意する。
機器の取付位置より1.5m以内の所にコンセントを設けてください。
- ②コンセントにD種接地工事を行う。

品番	定格電圧	ヒーター能力	コンセント形状	推奨コンセント(パナソニック製)
EHPN-CA12ECV4 EHPN-CA12ECS4 EHPN-CA12V4 EHPN-CA12S4 EHPN-CA20ECV3 EHPN-CA20ECS3 EHPN-CA25ECV3 EHPN-CA25V3	AC100V	1100W		WN1101 WF3002B/WK WF3003B/WK
EHPN-CB12ECV4 EHPN-CB12ECS4 EHPN-CB12V4 EHPN-CB12S4	単相200V	1500W		WF2520B/W WK2520B/W
EHPN-CB20ECV3 EHPN-CB20ECS3 EHPN-CB25ECV3 EHPN-CB25V3		2000W		

注意 形状の違うコンセントが取り付けられている場合は、コンセントを取り替えてください。機器の電源プラグの変更はできません。

9. 施工後の確認・処置

9-1. 膨張水排水ホース（黒）の確認

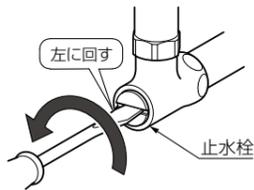
機器の取付けが完了したら、以下の点を確認して、必ず膨張水排水の配管が行われていることを確認してください。

- ①専用の排水器具が取り付けられていること。
- ②排水器具が目視で垂直に取り付けられていること。
- ③排水器具と機器の膨張水口とが確実に接続されていること。

9-2. 通水確認

注意 必ず機器内のタンクを満水にしてから、運転スイッチを「入」にしてください。
※機器の破損や、ヤケドの恐れがあります。

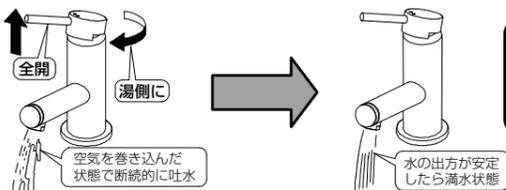
- ①給水・給湯配管が確実に接続されていることを確認する。
- ②止水栓を開ける。



- ③水栓金具の湯側を全開にして吐水する。

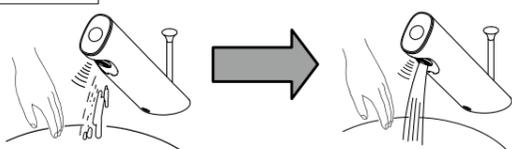
吐水が安定するまで続けてください

〈混合水栓の場合〉



タンクが満水になるまで時間がかかります。

〈自動水栓の場合〉



吐水口の下に手をかざし続けてください。止水したら、再度手をかざし、吐水が安定するまで続けてください。

注意 湯水切替タイプの自動水栓の場合、必ず湯側で通水してください。
※機器に給水されず、空だきの原因になります。

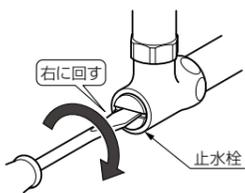
- ④(混合水栓の場合) 水栓金具の水側についても同様の操作を行う。
- ⑤水栓金具を閉め、各部に漏れがないか確認する。

9-3. ストレーナーの掃除

機器の設置初期に、配管内を流れてきたゴミがストレーナーに詰まって、湯や水の出が悪くなることがあります。通水確認後に、ストレーナーの掃除を行ってください。

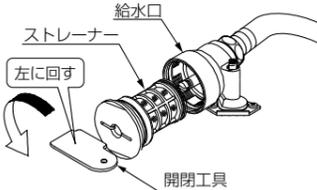
- ①止水栓を閉める。

注意 必ず止水栓を閉めてください。
※漏水の恐れがあります。

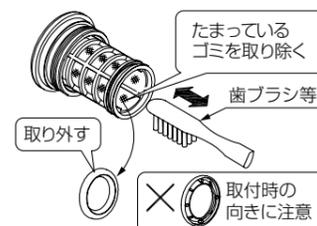


- ②付属の開閉工具でストレーナーを取り外す。

ストレーナーを取り外すと、止水栓から水がこぼれます。止水栓下部に洗面器等を置いて水を受けてください。



- ③ストレーナーの網目に詰まったゴミをブラシ等で取り除き、水洗いする。



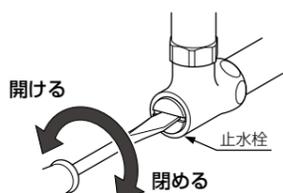
- ④取外しと逆の手順でフィルターを取り付ける。

掃除完了後、ストレーナーは確実に取り付け、「9-2. 通水確認」にしたがって通水し、水漏れのないことを確認してください。
※不明な点がございましたら、LIXIL 修理受付センターにご相談ください。有料にて掃除いたします。

9-4. 流量調整

止水栓で流量調整をする。

止水栓を回して、洗面器から水ハネしたりあふれたりしたりしないようにします。



注意 必ず止水栓で流量調整してください。
※水ハネや湯切れなどトラブルの原因となります。

【自動水栓との組合せ時】

止水栓は全開まで回し、自動水栓側の流量調整栓で流量調整をする。

※詳しくは、自動水栓の施工説明書を参照ください。

9-5. 機器への通電

注意 必ず機器内のタンクを満水にしてから、運転スイッチを「入」にしてください。
※機器の破損や、ヤケドの恐れがあります。

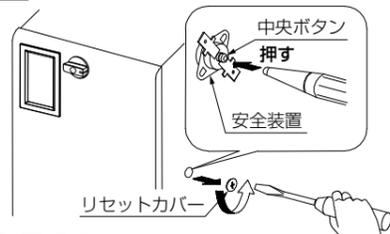
- ①電源プラグをコンセントに確実に差し込む。
- ②運転スイッチを「入」にする。



運転スイッチを「入」にしてもお湯にならない場合

安全装置が作動していることが考えられます。以下の手順で安全装置をリセットしてください。

- ①運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く。
- ②リセットカバーを取り外す。
- ③ボールペンの先などで、安全装置の中央ボタンを押す。
- ④取外しと逆の手順で、リセットカバーを取り付ける。



【取付け・取外し時の注意】

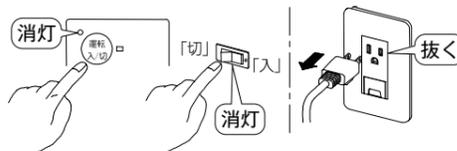
取外し時：リセットカバーを反時計回りに回すと、約1回転で外れます。
取付け時：リセットカバーを時計回りに回すと、約1回転で取り付きます。
※リセットカバーの締め込みすぎに注意してください。

注意 運転スイッチが「入」のまま、リセットカバーを外さないでください。
※感電の恐れがあります。

10. 水抜き方法

機器の設置後、引渡しまでに凍結の恐れがある場合は、以下の手順で機器の水抜きを行ってください。

- ①運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。
- ②水栓金具の湯側を全開にして、吐水が水になるまで流し続ける。



必ず機器内の湯を出し切ってください。
※機器内に湯が残っていると、水抜き時にヤケドの恐れがあります。

- ③水栓金具を開けたまま、止水栓を閉める。

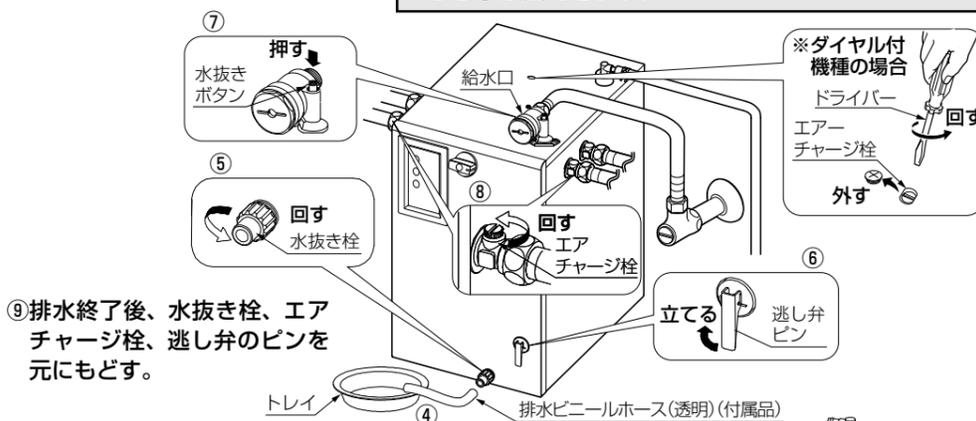


- ④付属の排水用ビニールホース（透明）を水抜き栓に差し込み、反対側はトレイ等で受ける。
- ⑤水抜き栓を開ける。
※水抜き栓を左に回します。固くて回しにくい場合はペンチ等を使用してください。

注意 必ず機器内が水になっていることを確認してから水抜き栓を開けてください。
※高温の湯で、ヤケドの恐れがあります。

- ⑥逃し弁のピンを立てる。
- ⑦給水口の水抜きボタンを押す。
- ⑧エアチャージ栓を開け、排水する。

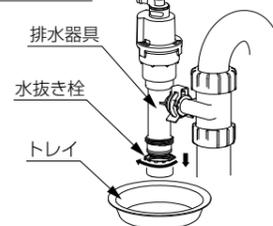
水抜き栓を開けてからエアチャージ栓を開けてください。
※水抜き栓を閉めた状態で開けるとエアチャージ栓から水が出てきます。



排水器具の水抜き

排水器具の水抜き栓を開ける。

- ・水抜き前には、排水器具下部に水を受けるトレイ等を準備してください。
- ・水抜き後には、必ず水抜き栓を取り付けてください。



11. 施工後の最終確認

全ての作業完了後、下記の表に従って最終確認をしてください。

確認事項	確認内容	チェック欄
電源電圧	施工した機器に合った電圧がコンセントに供給されているか	
排水器具	必要別売部品の排水器具が施工されているか	
わかがり温度	お客さまのご要望の温度に設定されているか	
漏水	内部の配管・タンクや配管接続部から漏水がないか	
流量	水栓の施工説明書に合った流量になっているか ※流量が少ない場合は、ストレーナーの掃除をする	
保証書	必要な内容を記載したか	

確認後、取扱説明書、施工説明書、排水用ビニールホース（透明）、開閉工具をお客さまにお渡しください。

株式会社 LIXIL お問い合わせ先

お客さま相談センター商品相談窓口 ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間平日 9:00～18:00 土日・祝日 9:00～17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)